

ひなたぼっこ通信

2019年
2月号

グループホームから

「お正月定番の味！」1階

1月は、お正月ということので、すいとんを作りあんこをかけたおやつを利用者様に召し上がっていただきました。新年に食べるあんこは、どうしてこんなに美味しいのでしょうか？ホツとする甘味で、思わず利用者の皆さんに笑顔がこぼれます。

他にも、おせちの特別メニューが出たり、お正月飾りがあつたり、縁起のいいものがたくさんありました。みんなで、今年も何事もなくて過ごせるよう、健康長寿をお祈りしました。



ケアハウスから

「福寿草」2階

年賀状の挨拶に「頌春」「迎春」「新春」など、春への憧れが多くうたわれていましたが、もう2月、立春ですね。日溜りでは福寿草が咲き、花屋の店先にはスイートピーをはじめ、色とりどりの花が、春の到来を告げています。

利用者の皆様は、窓から見えるハケ岳連峰、富

士山、甲斐駒ヶ岳など、雪を頂いた山々をご覧になり、若かりし頃の登山、ハイキング、スキー・・・と楽しい思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。

これから少しずつ日も長くなります。窓を開けて空気を胸一杯に吸い、広い廊下での歩行をし、手足を動かし、又フロアでは楽しい語らいと歌などで、健やかな日々を送っていただけたらと思っております。

「春は名のみの風の寒さや♪」という歌がありますが、まだまだ厳しい寒さが続きます。風邪、インフルエンザには十分気を付けましょう。利用者の皆様の元気な顔を一番素敵!! (一)

春はそこまで・・・



「今年も1年健康に」1階

ケアハウスでは一月十四日に恒例の「どんど焼き」を行いました。今年は今のところ大雪もなく、この日も天候に恵まれました。澄み切った青空の下、わいわいと火をかこみ、無病息災を祈りながら、さっそく「繭玉」を焼き始めました。焼いた繭玉は、外には出られなかった利用者様にも食べさせていただきました。

「甘くておいしいね」「懐かしいね」と、皆様おっしゃり、幼いころの話をしながら笑顔で召し上がっておられました。

温かい冬とはいえ、まだまだ厳しい寒さが続いています。全国的にも風邪やインフルエンザの流行がニュースになっています。体調管理や予防には今まで以上に気を付けていきたいと思えます。(二)

宅老所から

「講習会」

白十字社の方に、オムツの正しい知識を学ばれたの職員を対象とした講習会を開いていただきました。各種オムツ・リハパン・パットを持ってきていただき、なぜ尿漏れが起きるのか、正しいおむつの当て方のポイントなど学びました。

参加した職員は実際にリハパンを履いたり、ケアになりオムツを着け合ってみました。不快感や不自由さなどを体感する事により、ご利用者様に少しでも快適に過ごしていただけるよう



なケアに繋がると思っています。

排泄は人が生きていく上で必要不可欠なもので、オムツは最後の手段。歩ける方はトイレへ行き、移動が困難でも座れる方はポータブルトイレなど使用し、排泄をしましょう。(き)

放課後等デイから

「新しい散歩道など」

お達者広場からこちらに引っ越して3か月ほどが経ちます。お達者広場にいる時には、新田の「長泉寺」までをぐるりと回る1時間ほどのコースが、いい散歩道でした。長泉寺で一休みして林の中や田んぼの中を通過しての、見晴らしのいい、車の少ない安全な散歩道でした。

こちらに移ってきて、散歩道をあちこち探しました。分水の森まで歩いたり、ひなたぼっこから中央道沿いに茅野方面に歩いたりもしました。でも、どこを歩いててもテクノ街道などの車の通りの多い道を横切らなければいけませんでした。それが嫌で、もっと安全に、しかも「何か目的をもって」歩ける道はないかと、あれこれ探してみました。

そして、この頃やっと「これならいいのではないか」と思える散歩コースを見つけました。文章ですべてお伝えするのは難しいのですが、養護学校に隣接した南側に小さな沢が流れているのをご存知でしょうか。その沢に沿った道がテクノ街道の下をくぐって、富里の団地まで続いています。

そこからさらに中央道をくぐり、開拓道路の歩道をぐるっと歩いて、南原山のグラウンドで一休み。帰りはまた富里の団地から沢沿いの道に帰ってひなたぼっこへ向かうというコースです。ざっと1時間余りです。



子ども達は、公園につく頃には「ブランコ!」とか「滑り台!」と思いきいに楽しみにしていることを言ってくれます。右の写真は、その一場面です。散歩中の子ども達に出会ったら、気軽に声をかけてください。

インフルエンザが猛威!

インフルエンザが全国的に猛威を振るっています。今は主にA型が流行っていますが、B型の流行も油断できないとのことです。「手洗い・水分補給・換気・睡眠」などがやはり有効だと言われています。

各施設で、面会などの制限、行事の中止などを行っています。

どうかご理解ください。

「小正月・まゆ玉づくり」 グループホーム2階

一月十一日の大安に小正月の「まゆ玉づくり」をしました。白玉粉をこねる係、まゆ玉にまるめる係、柳の枝につける係にわかれて、行いました。粉が顔について、おしろいをぬったような顔になった職員に笑い声が上がりました。

十四日の夕方の「どんどん焼き」には職員が代表して、まゆ玉を焼いてきました。翌日の朝、全員で、まゆ玉をいただきました。利用者の方に、感想をお聞きすると、「昔、よく、行ったで思い出した」とか、「小正月はこどもの正月っていつて楽しかった」と笑顔で思い出話をされました。今年一年の無病息災を全員で祈る小正月でした。

今年もいい年にしたいもんだね・・・



発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富土見町富土見116500-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336